

愛知県環境教育等推進協議会報告資料

# 弊社が取り組む 生物多様性保全・再生活動について

大同特殊鋼株式会社

## 浜頓別プロジェクトについて



北海道  
クッチャロ湖  
浜頓別  
PROJECT

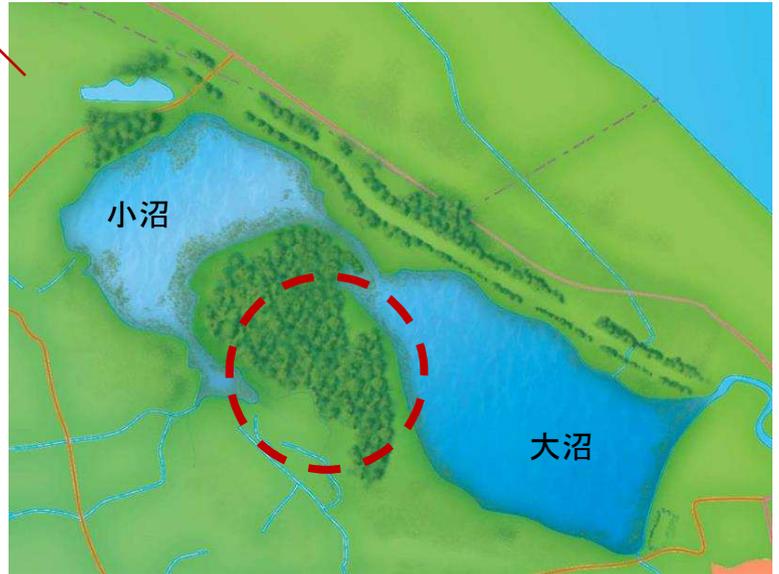
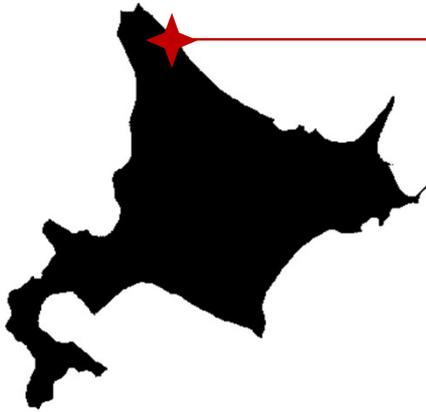


日本最北のラムサール条約登録湿地  
クッチャロ湖、  
その湖畔に保有する社有林を中心に  
環境保全、地域活性化活動に取り組んでいます。

## 社有林の概要

# 『クッチャロ 自然の森だいでう』

(2006年社内公募にて決定)



弊社社有林は、日本最北端の地、宗谷岬から南へ約60km、北海道 枝幸郡 浜頓別町にあります。日本最北のラムサール条約登録湿地、クッチャロ湖に突き出す中島の森、その付け根部分が社有林です。

**大同の森の面積：380ha**  
東京ドーム約88個分  
弊社知多工場の3倍

## クッチャロ湖の概要

豊かな自然が残り、ヒグマやキタキツネ、エゾシカなどが棲息する生命の楽園。渡り鳥の飛来も多く、特にコハクチョウはシベリアから飛来する際に日本で最初に羽を休める中継地として認知されています。

### ○クッチャロ湖DATA

- ・アクセス：稚内から車で1.5時間(88キロ)
- ・周囲：約27キロ
- ・水深：平均1.5m(最深部2.5m)
- ・タイプ：淡水湖(一部汽水湖)、低層湿原

### ・指定など

- 北林-ツ道立自然公園の指定
- 環境庁国民休養地の認定
- 国設鳥獣保護区の設定
- 自然公園保護規制区域 第2種地域
- ラムサール条約の登録湿地指定



## ラムサール条約とは？

世界中を旅する「渡り鳥」と、その生息地である「湿地」を守るための世界条約です。湖や干潟、サンゴ礁、田園、洞窟など、様々な環境が指定され、世界で約2,400カ所が登録されています。

## 活動①環境林化促進事業

社有林の一部には、弊社保有以前の山火事で山林が喪失し、クマザサが侵入した生物多様性の低いエリアがあります。このエリアを再び豊かな森に再生するための活動に取り組んでいます。再生活動は地元NPO「クッチャロ湖エコワーカーズ」と連携しています。



### 目的

一部がササ地化した湖畔林に生物多様性を取り戻す。

湖畔林のササ地化エリアを豊かな森に戻すため、ササ地の環境林化促進事業を行っています。

### 現地の写真



### 1991～2005 第1段階

地域在来の針葉樹を列状に植林し、環境林化の礎を築く。

道北の寒冷な気候に強く、成長の早いアカエゾマツを列状に植林。現地の強い風から、これから生えてくる苗木を守るなど、様々な役割を期待しています。

### 現地の写真



### 2007～ 第2段階

広葉樹の発芽・育成を促進し、針広混交林化を促進する。

アカエゾマツの間のササを根こそぎ掻き起し、表土を露出。飛来種子や埋土種子の発芽を促しています。自然の再生力をサポートする”地かき”という手法です。また、補助的にミズナラやカシワなど、ドングリをつける落葉広葉樹の植樹も実施。落ち葉が土壌を豊かにし、ドングリが生き物を育む豊かな森づくりを目指しています。

### 現地の写真



### 目標

多様な動植物の息づく生物多様性豊かな森へ。

理想的な針広混交林を形成し、生物多様性豊かな森を取り戻します。

### 目指す森のイメージ



活動①環境林化促進事業

2006年から毎年継続し、  
累計約23.9haの施工が完了、今年度も1.5haを施工予定



ササは2年ほどで  
復活するものの、  
ササの上にミズナラなどの  
広葉樹が顔を出すように  
成育し始めています。



## 活動②クッチャロ湖保全活動支援

社有林を取り巻くクッチャロ湖の  
保全・再生に取り組むことも重要です。  
ただし、**一企業が社有林の外の保全に  
口を挟むのは難しい問題**もあります。  
そこで、弊社は地元住民と連携し、  
クッチャロ湖の保全・再生および地域活性化を目指すNPO  
『クッチャロ湖エコワーカーズ』を地元住民と連携し設立。  
このNPOの活動をサポートするという形で、  
クッチャロ湖保全活動にも**貢献**しています。



## クッチャロ湖エコワーカーズの取組

### クッチャロ湖 保全活動

湖の水質調査活動や  
湖畔のゴミ拾いなどに  
取り組んでいます。



### クッチャロ湖 湖畔林再生活動

湖の水質環境に影響する  
湖畔林への植樹活動に  
取り組んでいます。



### 地域活性化 活動

地域住民への環境啓発  
イベントの開催や  
湖のファンづくりを目指した  
エコツアーなどに  
取り組んでいます。



### 活動③地域貢献活動

環境保全活動を推進するためには、  
まずは地域の元気から。  
弊社は地元主催のイベントへの協賛や、  
地元住民向けの環境イベントなどにも  
取り組んでいます。



### 弊社スタッフと家族によるエコキャンプツアー

2005年から毎年夏に弊社スタッフのその家族を対象とした  
エコキャンプツアーを開催。  
社内のファンづくりと活動の啓発を行っています。  
※2020年、2021年はコロナ対策のため中止



### 全国から学生約100名を集めた学生環境サミット

2008年、クッチャロ湖の環境保全と地域活性化を両立するプランを  
全国の学生が立案、街へプレゼンする学生環境サミットを  
浜頓別町、エコワーカーズとともに共催。  
全国から約100名の学生が集結し、1週間のキャンプ生活や  
エコツアー体験、町民とのふれあいを通じ、  
様々な提案が行われました。  
この活動は東大生によるサークル『環境三四郎』へと受け継がれ  
その後も5年にわたり継続。下記の100kmマラソン誘致の  
きっかけを生み出しました。



### 地元主催のウルトラマラソンへの協賛

毎年7月下旬に浜頓別町で開催されるウルトラマラソン『北オホー  
ツク100kmマラソン』を、特別協賛として支援。資金協賛、グッズ  
提供はもちろん、マラソン会場へのクッチャロ湖紹介ブース出展な  
ど、さまざまな形で大会に協力させていただいています。  
※2020年、2021年はコロナ対策のため中止



## 環境大臣表彰ダブル受賞

浜頓別プロジェクトをきっかけに  
弊社およびクッチャロ湖エコワーカーズは  
それぞれ環境大臣表彰をいただきました。

### 平成30年、大同特殊鋼が受賞

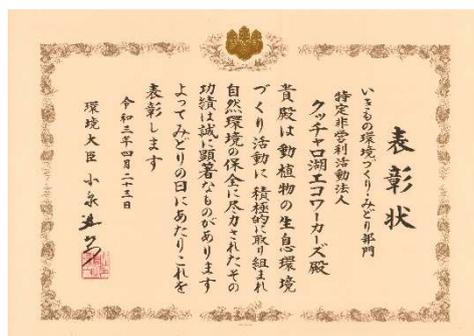
平成30年、大同特殊鋼は、  
クッチャロ湖社有林保全および周辺の保全への貢献活動が評価され、平成30年度『野生生物保護功労者表彰（環境大臣表彰）』を受賞しました。

授賞式には、NPO法人クッチャロ湖エコワーカーズ副理事長の北村氏とともに、弊社の執行役員竹鶴が出席。常陸宮様をご臨席される前で、環境大臣から直接表彰状を受け取らせていただきました。今回の受賞を励みとし、さらに活動に邁進していきたいと、決意を新たにいたしました。



### 令和3年、クッチャロ湖エコワーカーズが受賞

令和3年度には、  
NPO法人クッチャロ湖エコワーカーズが  
「みどりの日・自然環境功労者環境大臣賞」を受賞。  
新型コロナウイルス感染対策のため、公式の表彰式は  
行われませんでした。浜頓別町に独自の伝達式を開催していただき、表彰状を受け取りました。



## 命をつなぐPROJECTについて



# 命をつなぐ PROJECT

『命をつなぐPROJECT』は、  
知多半島の工業地帯に作られた緩衝緑地帯  
（通称グリーンベルト）を主なフィールドとし、  
緑地の生物多様性向上に資する様々な活動を行うことで、  
地域の生態系ネットワークの形成と、  
次世代を担う若者の育成を目指す、  
産官学民連携の生物多様性プロジェクトです。  
大同特殊鋼は命をつなぐPROJECTに参画し、  
知多工場の緑地整備やイベントへの協力等の形で貢献しています。



## 命をつなぐPROJECTとは

知多半島の工業地帯には、通称グリーンベルトと呼ばれる、全長10kmに及ぶ企業の広大な森が広がっています。これは、工業地帯と人々の生活圏とを隔てる「目隠しの森」として、およそ半世紀前に造成されました。時は下り、市街地化の進行により、周辺地域では自然や緑地等が著しく減少しています。命をつなぐPROJECTは、グリーンベルトを地域生態系の重要拠点として捉え、必ずしも利害が一致しない多様な主体が連携し、情報共有、相互協力、地域啓発などを活発化させ、緑地群全体の生物多様性向上を目指すべく始まったプロジェクトです。



企業緑地群（グリーンベルト）の空撮  
市街地と工業地帯を分断する様子がわかる

## 活動概要

『命をつなぐPROJECT』の主な活動は、企業緑地の生物多様性向上と、地域における生態系ネットワークの形成、環境啓発活動です。全ての活動に、地元の大学生・専門学生による『学生実行委員会』が主体的にかかわることで、次代を担う若者の育成とともに、現在の生物多様性活動を担う組織づくりを行っています。

### 企業緑地の生物多様性向上



目隠しの森から生き物の森へ。連携企業各社、様々な緑地整備を行っています。

### 生態系ネットワークの形成



多数の企業が連携し、自社緑地の生物多様性を高めることで、生態系ネットワークの形成を目指しています。

### 啓発活動



活動状況や生物多様性情報を、学生が編集するフリーペーパーや動画などで常に発信し続けています。



地域住民を対象とした啓発イベントの企画・運営をしています。

これらの活動すべてに学生実行委員会がかかわり、NPOや専門家の指導の下で企画・実行しています。

## 構成団体

【企業】連携企業12社  
株式会社IHI 愛知事業所、  
愛知製鋼株式会社、  
出光興産株式会社 愛知製油所、  
ENEOS株式会社 知多製造所、  
株式会社JERA 知多火力発電所、  
**大同特殊鋼株式会社 知多工場**、  
知多エル・エヌ・ジー株式会社、  
東邦ガス株式会社 知多製造部、  
東レ株式会社 東海工場、  
株式会社豊田自動織機、  
日本製鉄株式会社 名古屋製鉄所、  
株式会社LIXIL 知多工場

【学生】命をつなぐPROJECT 学生実行委員会

【NPO】NPO法人 日本エコロジスト支援協会

【専門家】エコアセット™・コンソーシアム  
MS&ADインターリスク総研株式会社、  
住友林業緑化株式会社、  
株式会社地域環境計画、  
住友林業株式会社、4社の連携事業体

【行政】愛知県・知多市・東海市

## 具体的な活動内容（一例）

### アニマルパスウェイの設置

企業緑地はつながっているように見えるが実際は敷地間がフェンスで分断されています。そこで動物の生息圏拡大するアニマルパスウェイ(動物の通り道)を新設。キツネやタヌキの通行が確認されています。



アニマルパスウェイ設置企業  
LIXIL-ENEOS  
大同特殊鋼-日本製鉄

写真左：タヌキの往来を確認  
写真右：パスウェイ新設(LIXIL-ENEOS間)

### ビオトープの新設

自然度の高いビオトープがほとんど無かった企業緑地内に、水辺ビオトープを新設していくことで、生態系ネットワーク形成を目指しています。これまでに計7箇所のビオトープを新設してきました。



左：出光興産(2014年度)  
右：愛知製鋼(2016年度)

ビオトープ設置企業  
ENEOS  
出光興産  
IHI  
大同特殊鋼  
愛知製鋼  
大同大学私有地

### 生き物の住処づくり

生き物の憩える緑地づくりを目指し、哺乳類が隠れられる巣穴や野鳥の巣箱、爬虫類や昆虫が隠れられるマウンドなど、様々な住処を新設している。



新日鐵住金(株)名古屋製鐵所に  
キツネの巣穴を新設



愛知製鋼(株)にトカゲの住める  
トカゲハウスを新設



連携企業各社にて  
巣箱を設置

### イベント開催

企業緑地の魅力や取り組みの大切さを伝えるために、地域住民向けのイベントを企画・運営。毎年多数のイベントを開催している。



### 情報発信

活動の最新情報を学生がつくるフリーペーパーで地域に向け楽しく発信。SNSやウェブサイトでも最新情報や啓発記事を配信し続けている。



## 大同特殊鋼の取組

弊社 知多工場では、  
命をつなぐPROJECTの趣旨に賛同し、  
生物多様性配慮型の緑地整備に取り組んでいます。

### 自社緑地に生態系配慮型の整備を実施

工場内にビオトープを2箇所、生き物の住処を1箇所造成

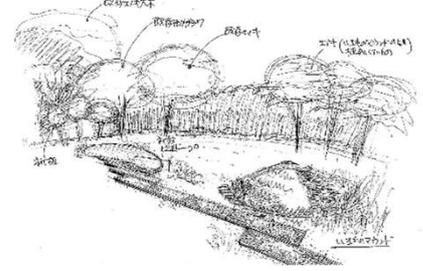
愛知県助成金『森と緑づくり税』を活用



2015年に水辺ビオトープを造成。連携企業のENEOSより譲り受けたニホンメダカが泳ぐ環境です。



2019年に生き物が集まるマウンドを設置。蝶や野鳥の誘致を狙っています。



今年度新たにビオトープを造成予定。学生や専門家とともにプランを練っています。

### 日本製鉄(株)名古屋製鉄所と連携した整備

隣接する日本製鉄(株)名古屋製鉄所の敷地境界フェンスに、動物が通れる抜け穴を設置。大同特殊鋼側にビオトープを、日本製鉄側に隠れ家を設置し、企業の敷地を超えた生物多様性整備を行いました。



### 約40年ぶりにキツネの姿を確認

これらの地道な整備活動の成果か、知多工場敷地内でキツネの姿が確認されました。日本製鉄側から大同側へ移動する様子や、ビオトープで水を飲む姿が定点カメラに写されています。キツネは、かつて地域絶滅が宣言された種ですが、東海市では40年ぶりの確認とされています。

### 命をつなぐPROJECT主催の環境イベントへの協力・参加

#### 生物多様性 イベントへの協力

命をつなぐPROJECTが主催する自然観察会や環境啓発イベントのほとんどに参加・協力し、学生たちの活動と地域ステークホルダーへの情報発信をサポートしています。



連携企業12社が緑地を公開する『Love! Greenday』



ファミリー向け環境イベント『Green Smile Festa』

コロナ禍で制限の多い中、試行錯誤しながら取り組んでいます。

## ■浜頓別PROJECT

- |        |                                                                      |
|--------|----------------------------------------------------------------------|
| 5月22日  | クッチャロ湖エコワーカーズ<br>会員総会へリモート参加                                         |
| 6月23日  | クッチャロ湖エコワーカーズ環境大臣表彰<br>伝達式に記念品贈呈<br><br>※夏のエコキャンプ、100kmマラソンはコロナ禍にて中止 |
| 9月下旬～  | 今年度環境林化促進事業施工予定                                                      |
| 10月23日 | クッチャロ 自然の森だいでう植樹祭予定<br>(コロナ禍状況に応じて地元のみ開催など検討)                        |
| 3月5日   | 冬の環境フォーラム予定                                                          |



リモート総会の様子



木製の賞状額を贈呈

## ■命をつなぐPROJECT

- |        |                                                                                                                                                                                |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月～    | 学生による啓発youtube開始<br>(弊社知多工場も撮影に協力)                                                                                                                                             |
| 11月27日 | 企業緑地見学イベント『LOVE! Green Day』への協力予定<br>(コロナ状況に応じて柔軟に対応)                                                                                                                          |
| 1月21日  | ファミリー向け環境啓発イベント『Green Smile Festa』への協力予定<br><br>★知多第二工場への新ビオトープ造成にむけて<br>定期的に学生・専門家・NPOとのワークショップを開催<br><br>★春夏秋冬 季節ごとに学生による緑地の<br>生き物モニタリングを受入れ中<br>(コロナ配慮で人数制限、感染防止策を徹底して実施中) |



学生youtubeの一コマ  
[https://www.youtube.com/channel/UC3qI0L-H6XY\\_iv4YPDZOM9w](https://www.youtube.com/channel/UC3qI0L-H6XY_iv4YPDZOM9w)



緑地モニタリングの様子